

2011年 / 日本・ラトビア国交樹立90年、国交回復20年

ラトビア共和国

# ペーテリス・ヴァイヴァルス大使 講演会

The lecture meeting by His Excellency Pēteris VAIVARS, Ambassador of the Republic of Latvia

10/20  
(THU)

国際学部連続講演会第20回

一般参加歓迎 (無料)

LATVIJA - BALTIJAS PĒRLE (バルトの真珠ーラトビア)  
<ラトビア語・日本語通訳付き>

13:30-15:00

西宮上ヶ原キャンパス B号館 203教室

10/21  
(FRI)

総合政策学部研究会講演会 School of Policy Studies

一般参加歓迎 (無料)

NINETY YEARS OF THE BILATERAL RELATIONS  
BETWEEN LATVIA AND JAPAN <英語・通訳なし>

13:30-15:00

神戸三田キャンパス II号館 201教室 Kobe Sanda Campus II-201



ラトビア共和国 初代駐日大使  
ペーテリス・ヴァイヴァルス氏



通訳：ラトビア大使館  
オレグス・オルロフス氏

写真：リガ旧市街 / 聖ペテロ・守護神ローランド・ギルドを見上げる

撮影：上野慶三さん

主催：国際学部  
総合政策学部  
共催：経済学部  
理工学部  
産業研究所  
学院史編集室

世界無形文化遺産

主催：関西学院大学 協力：駐日ラトビア共和国大使館

## 「ラトビア歌と踊りの祭典」写真展

### Latvian Song & Dance Festival Photo Exhibition

10月17日(月)～21日(金) 9:30～16:30

西宮上ヶ原キャンパス 大学図書館ロビー

Oct. 17 - 21: University Library, Nishinomiya-Uegahara Campus (9:30 am - 4:30 pm)

10月24日(月)～28日(金) 9:30～16:30

神戸三田キャンパス ランバス記念礼拝堂

Oct. 24 - 28: Lambuth Memorial Chapel, Kobe-Sanda Campus (9:30 am - 4:30 pm)



関西学院大学  
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

西宮上ヶ原キャンパス

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

神戸三田キャンパス

〒669-1337 兵庫県三田市学園2丁目1番地

お問い合わせは **0798-54-6100** 学長室 まで

## ペーテリス・ヴァイヴァルス（Pēteris Vaivars）特命全権大使



リガ工科大学卒業（オートメーション・コンピュータ技術専攻）。民間職を経て、1992年ラトビア共和国外務省に入省。駐フィンランド一等書記官、駐ウクライナ大使（途中からルーマニア・モルドバ大使を兼任）、外務省次官（途中からセルビア・モンテネグロ大使を兼任）、2006年より初代駐日大使（翌年から韓国大使を兼任）。

大変な読書家（日本文学に詳しい）。東京マラソン5年連続完走。

## この人もラトビア人？

### イエーカブス・ダーヴィス

金属チャックを発案。大量生産のジーンズに取り付けられた。

### アウヴィーズ・ブルーメンタールス

映画「クロコダイル・ダンディ」の主人公のモデル。オーストラリアに住み、生涯に約4万匹のワニを捕獲。

### ゲオルグ・アウグスト・シュヴェインフルト

世界的に有名なアフリカ研究家。ピグミーを発見。

### ライモンズ・パウルス

ラトビア・ポップスの作曲家。ピアニスト。「百万本のバラ」（「マーラが与えた人生」）を作曲。

### マリス・ヤンソンス

世界的指揮者。

### ミハイル・バリシニコフ

バレエ・ダンサー。

### ギドン・クレーメル

世界的バイオリニスト。

### ヴァルテルス・ツァプス

世界最小のヴェフ・ミノックス・カメラを発明。

### フリードリッヒ・ツァンデル

液体石油で動かすロケットエンジンを初めて作成。

### ヴィルヘルム・オストワルド

化学者、哲学者、物理化学の創始者の一人。ノーベル化学賞受賞。



## 「ラトビア歌と踊りの祭典」世界無形文化遺産

5年に1度首都リガで開催されます。1873年に「歌の祭典」として始まり、ソ連併合時代も続けられました。歌われるのは民族の歌で、ダイナと呼ばれるものの一種です。過酷な歴史の中、ダイナを歌うことによりラトビア人は民族の誇りを維持してきました。この伝統が「歌う革命」となって、悲願の独立回復につながったのです。

2008年の祭典（第24回全ラトビア歌の祭典・第14回踊りの祭典）には、史上最多の38,601人が参加しました。閉会コンサートの12,000人による大合唱はアンコールの嵐で、真夜中を過ぎても終らなかったそうです。



## 関西学院とラトビアの関係



1918年から21年まで関西学院で英語を教えていたラトビア人青年イアン・オゾリンの存在が縁となって、今回の講演会と写真展が実現しました。ラトビアの独立宣言は1918年、それを日本が承認したのは1921年のことです。16ヶ国語を話す語学の天才と言われたオゾリンは、教師の傍らラトビア領事としての役割も果たしました。

本年（2011年）は、両国の国交樹立90年、国交回復20年に当たります。